

New City Hall



2024年4月

千葉市IR資料



1 千葉市について

千葉市のプロフィール	P. 3
千葉市の特色①国内外のアクセスに有利な立地	P. 4
千葉市の特色②多様な人材が揃う都市	P. 5
千葉市の特色③豊かな自然環境と人にやさしいまちづくり	P. 6
企業立地～多岐にわたる産業集積～	P. 7

2 千葉市の取組みについて

令和6年度当初予算の特徴	P. 9
千葉市基本計画及び実施計画	P.10
千葉市地球温暖化対策実行計画	P.11
主な事業①新庁舎整備事業	P.12
主な事業②新清掃工場建設事業	P.13
主な事業③千葉開府900年記念事業	P.14
ふるさと納税	P.15

3 千葉市の財政状況について

普通会計における歳入と歳出の状況(令和4年度)	P.17
普通会計における歳入規模と歳出規模の推移	P.18
中期財政運営方針(令和4年度～令和7年度)	P.19
普通会計における市債発行額の推移(新規事業分)	P.20
全会計における市債残高の推移	P.21
健全化判断比率の推移	P.22
財政力指数の推移	P.23
市債管理基金(減債基金)	P.24

4 千葉市の起債運営について

起債運営方針	P.26
資金区分及び発行年限・償還方法の推移	P.27
全国型市場公募地方債(個別発行)の発行実績	P.28
令和6年度市場公募債発行計画	P.29
千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド)	P.30
千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド)	P.31



千葉市の花
「オオガハス」の妖精
ちはなちゃん



加曾利貝塚PR大使
かそりーぬ



市役所旧庁舎

1. 千葉市について

千葉市のプロフィール

千葉市の概要

市制施行	大正10年1月1日
政令指定都市移行	平成4年4月1日
面積	271.76km ²
人口	979,321人 (R6.3.1現在)
世帯数	467,399世帯 (R6.3.1現在)
生産年齢人口比率	62.6% (R5.12.31現在)

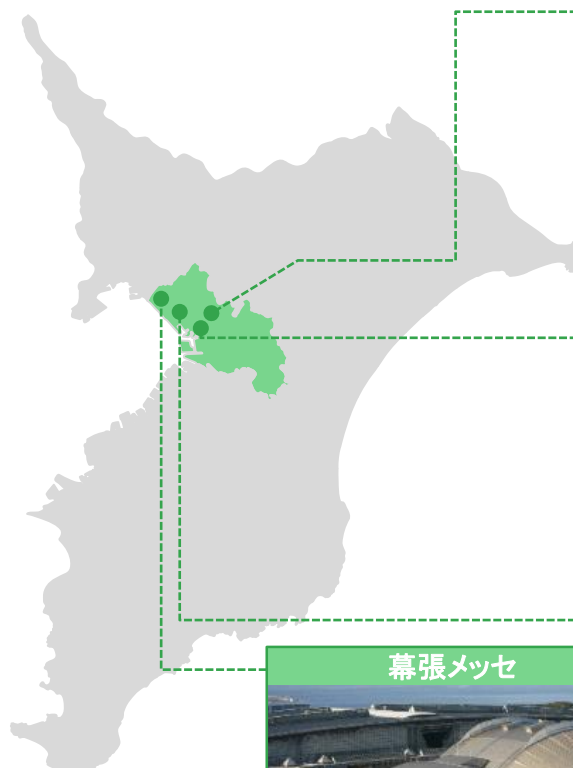
千葉市の特徴

地理的特徴

- 千葉市は東京湾の湾奥部に面し、千葉県ほぼ中央部に位置します
- 鉄道や幹線道路の結節点として県内の交通の要衝となっています
- 大都市でありながら住宅地と農村地域が両方存在し、緑と水辺に恵まれていることが特徴です

気候面の特徴

- 気候は比較的温暖で、令和5年の年間平均気温は18.1℃、年間降水量は1268.5mmです



千葉市動物公園



立ち姿で有名なレッサーパンダ「風太」を飼育していることで知られる

TIPSTAR DOME CHIBA



自転車競技の国際規格に基づいた250メートル木製トラック(バンク)を有する多目的スポーツ施設

幕張メッセ



日本を代表するコンベンション施設。
東京2020オリンピック・パラリンピック
競技会場

ZOZOマリンスタジアム



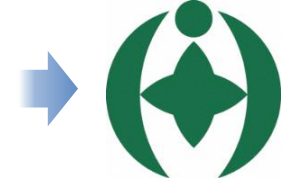
プロ野球・千葉ロッテマリーンズの
本拠地

千葉市章

千葉市章のデザインは、
千葉市の開祖・千葉氏の月星紋に
千葉の「千」を配したものです



月星紋



千葉市の特色①:国内外のアクセスに有利な立地

- 陸路・海路・空路のすべてにおいて、強力な優位性を持つのが千葉市の最大の特徴です。
- 国内トップクラスの貨物取扱量を誇る「千葉港」、都心や国際空港への軽いフットワークを実現する鉄道網と道路網など、国内・海外問わず容易なアクセスを実現しており、企業立地の促進に繋がっています。

陸路

発展を続ける陸上交通網

道路網と鉄道網いずれにおいてもさらなるアクセス向上に向け、施策を推進

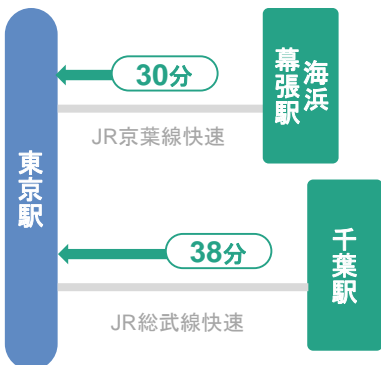
高速道路・圏央道等のさらなる利便性向上

- 千葉市周辺の支道網は外環道(東京外かく環状道路)三郷南IC~高谷JCT間が開通し、関越道・東北道・常磐道と千葉県湾岸エリアとの交通が円滑化
- 圏央道も千葉県区間の早期開通へむけて整備中であり、利便性の向上が見込まれる。



東京方面のアクセスを向上させるため(仮称)検見川・真砂スマートインターチェンジや新湾岸道路も検討

2023年3月 新駅「幕張豊砂駅」の開業で鉄道ネットワークもさらに強化



千葉県内のJRの駅としては1998年の東松戸駅以来の新駅設置イオンモール幕張新都心至近

海路

日本を代表する国際貿易港“千葉港”

- 取扱貨物量では全国2位を誇る「千葉港」
- さまざまなコンテナ需要に対応し、コストの面でもさらなる削減が期待可能



港湾取扱貨物量ランキング



1億3,455万トン

全国 2位

※千葉港全域の数値
出典:港湾取扱貨物量ランキング(2021年)(国土交通省港湾局)

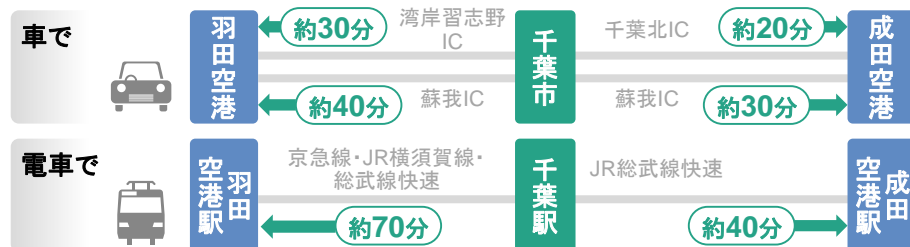
空路

成田・羽田のほぼ中間ポジション

- 首都圏2つの国際空港まで車で30分以内と世界に繋がるには最適の都市



車でも電車でもアクセスしやすい立地



千葉市の特色②: 多様な人材が揃う都市

- 千葉市は数多くの大学を有していることや、ハローワーク・ポリテク(職業能力開発促進センター)との連携といった手厚い雇用支援体制を背景に、**千葉県内における通勤先として人が集まる圏域の拠点都市**となっています。そのことから、**昼夜間人口比率が首都圏政令市で突出**しており、県内で高い拠点性を有しています。

市内に8校の大学、短大なども合わせると11校

- 千葉市は数多くの大学を有しており、人口100万人あたりの大学数は首都圏政令市の中で突出
- また、千葉大学をはじめとした市内を代表する各大学と産学連携体制を確立

人口100万人あたりの大学数

市	大学数
千葉市	8.2
横浜市	4.0
さいたま市	3.8
川崎市	3.2
相模原市	2.8

出典: 大都市比較統計年表(令和3年)



手厚い雇用支援体制

- ハローワークやポリテク(職業能力開発促進センター)との連携で、幅広い人材の確保と育成を実現

職業開発などを行う国の機関である ポリテク3施設が揃っているのは千葉市だけ

高度ポリテクセンター



在職者の方を対象に、生産現場の課題解決や生産性向上に資する高度・先端的な能力開発セミナーを実施

ポリテクセンター



求職者の方に、就職に必要な実践的スキル・知識を学ぶ6~7カ月の職業訓練を実施

ポリテクカレッジ

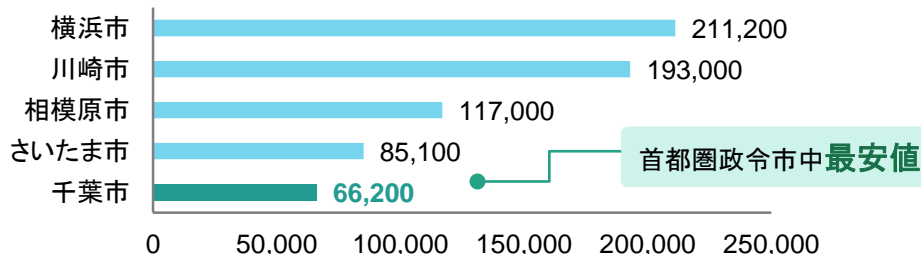


高校卒業・見込みの方を対象とした実践技術者の養成を目的としたものづくり教育を実施

ローコストハイグレードシティ(首都圏政令市最安値の地価)

- 首都圏にありながら、工業用地の地価やオフィスの賃料が割安で、低コストで広い面積の確保が可能

工業地地価公示平均価格(円/㎡)

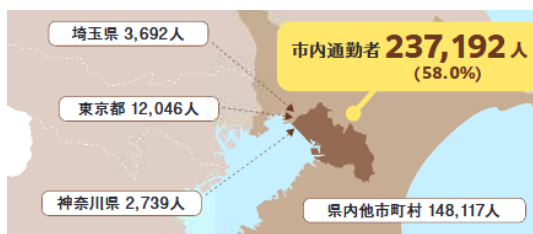


出典: 国土交通省令和6年地価公示

周辺エリアから人が集まる圏域の拠点都市

- 千葉市は、千葉県内における通勤先として高い拠点性を有しており、昼夜間人口比率は98.1%と首都圏政令市中でもっとも高い数値

千葉市外からの通勤流動



(備考) 平成27年度調べ

*昼夜間人口比率とは

夜間人口と昼間市内にいる人の割合を比べた値。市外への通勤・通学者が少なく、市外から通勤・通学者が多く集まる都市ほど、割合が高くなる

首都圏政令市の 昼夜間人口比率*

市	昼夜間人口比率
千葉市	98.1
横浜市	92.5
さいたま市	92.9
川崎市	87.3
相模原市	88.9

出典: R2年国勢調査

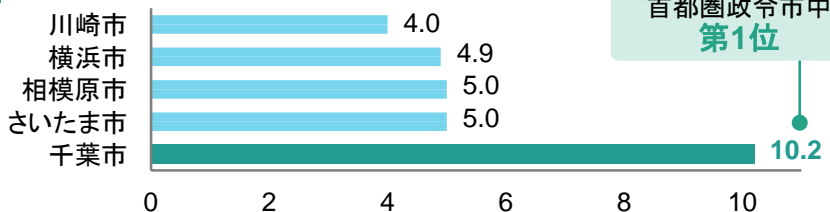
千葉市の特徴③：豊かな自然環境と人にやさしいまちづくり

- 千葉市には、潮風が感じられる海辺や緑に癒やされる里山など、自然環境の豊かさもあります。
- また、待機児童の解消といった子育てしやすい環境への注力など人にやさしいまちづくりも推進しています。

海辺と里山、それぞれの暮らしやすさ

- 千葉市は海と緑の両方に恵まれており、人口1人あたりの都市公園面積が首都圏内政令市中第1位であるなど、自然に囲まれた潤いがあるまち

人口1人あたりの都市公園面積(㎡/人)



出典：国土交通省HP(R4年3月31日時点)

- 「海辺エリア」と「里山エリア」と魅力あふれる異なったエリアに分かれる

海辺エリア

- 「幕張エリア」ではイベントやショッピングが楽しめ、「検見川エリア」はマリンスポーツのメッカ。BBQや海水浴・プールの「稲毛エリア」に、港の風景が広がる「千葉みなとエリア」、工場夜景が魅力の「蘇我エリア」とその表情もさまざま



検見川の浜



稲毛海浜公園



里山エリア

- 千葉市の内陸部、中でも若葉区や緑区には多くの自然が残り、田畑が広がるエリアが存在
- 「泉自然公園」「昭和の森」などの自然を活用した大型公園や、「千葉市動物公園」「加曾利貝塚」「観光農園」「観光牧場」「直売所」など



昭和の森



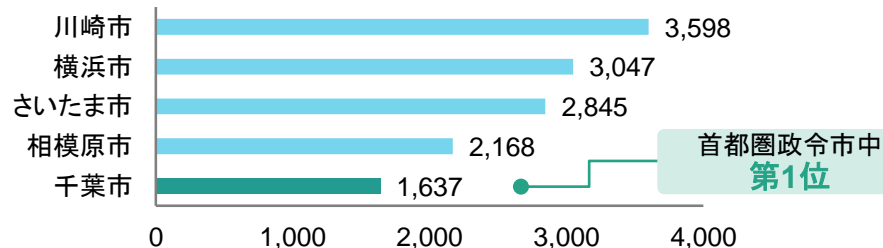
加曾利貝塚

生活にちょうどいい住環境

- 首都圏の大都市と比べると、地価が安く宅地も豊富

住宅敷地価格(土地123.95㎡を購入する場合)

(万円)

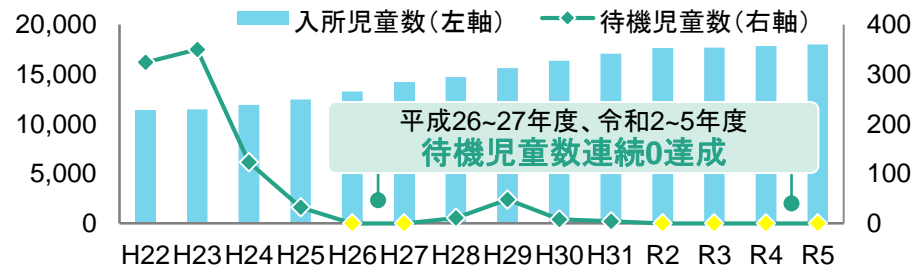


出典：国土交通省令和6年地価公示

子ども親も笑顔になれるまちづくり

- 待機児童数は近年0人で推移。未来をはぐくむさまざまな計画も進行中

千葉市待機児童数の推移(人)



推進中の事業

認定こども園の普及促進

保育施設整備に対する財政支援

保育人材の確保

子育て家庭への経済的支援

子どもルーム、延長保育などの子育て支援事業の推進

企業立地～多岐にわたる産業集積～

企業立地については

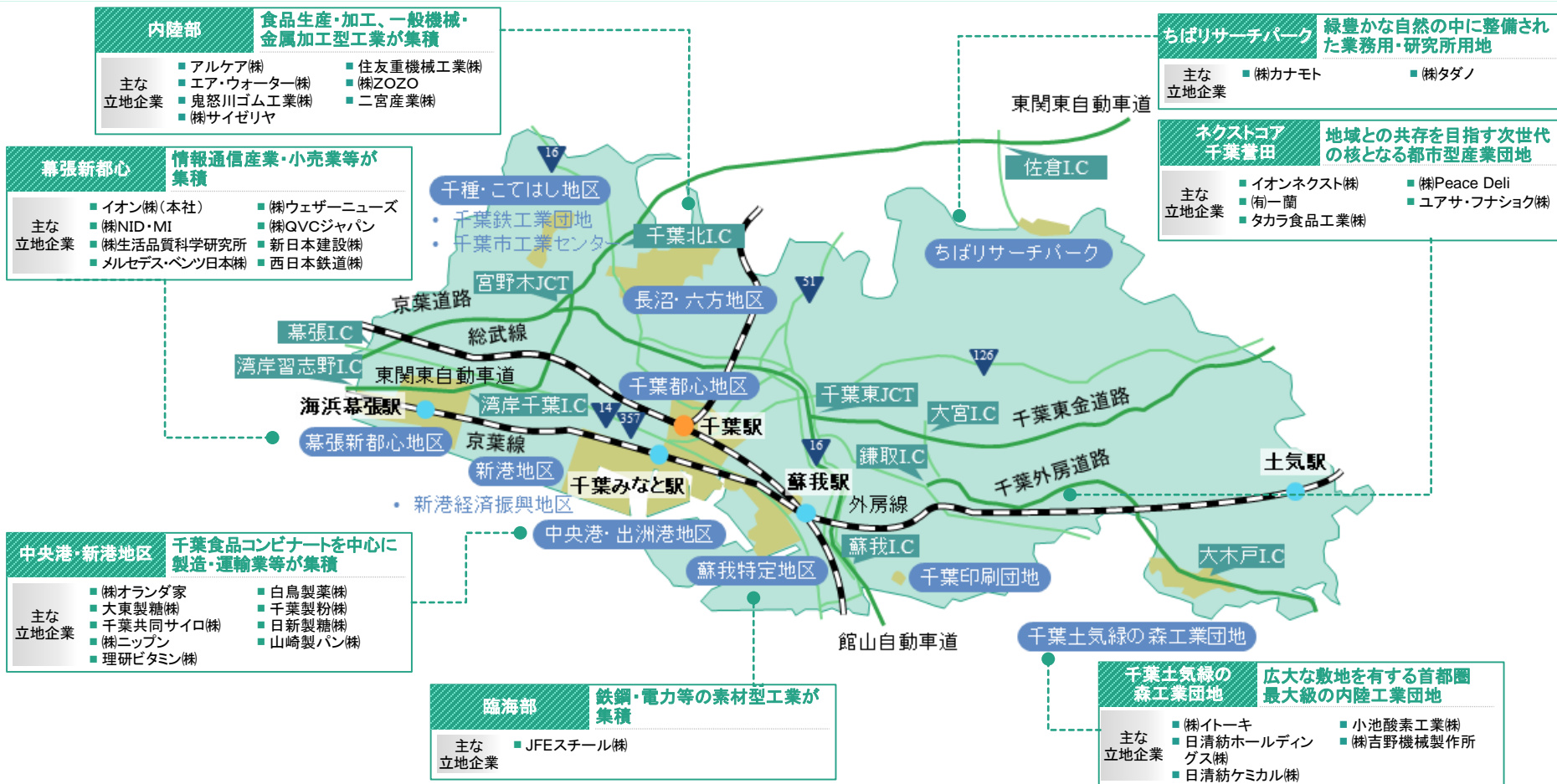
千葉市 企業立地ガイド

検索



企業立地補助制度の概要と特徴

- 税源の涵養や雇用創出を図るため、補助メニューや要件を毎年ブラッシュアップ。企業の投資意欲を積極的にサポートしています。
- 幅広い対象業種と対象地域、オフィス賃借に対する補助(賃借型)など、多彩な補助メニューに加え、既進出企業への追加投資に対する補助メニューを設けるなど、立地後も安心の操業環境を創出しています。
- 企業誘致の実績は、単年度平均では約29件、令和4年度は40件となっており、令和5年度も同水準の件数を見込んでいます。





市の花木 キョウチクトウ

2.千葉市の取組みについて

令和6年度当初予算の特徴

- **2年度目である第1次実施計画について**、事業費の精査を行ったうえで、事業の着実な推進を図ります。
 - また、財政の健全性の維持に向けた取組み及び行政改革の取組みを着実に推進するとともに、既存の事務事業については、事業効果や必要性について検証を行い、状況に応じて見直しを図ります。
- ・ 総額：9,531億5,500万円 / **一般会計：5,094億円** / 特別会計：4,437億5,500万円

子ども・教育



- 妊娠前から子育て期までの支援の充実
 - 子ども医療費助成 等
- 学びを支える教育環境の充実
 - 学校施設の環境整備 等
- 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実
 - 子どもルーム整備 等

地域社会、文化芸術・スポーツ



- 持続可能な市民主体のまちづくり推進
 - 町内自治会DX化モデル事業 等
- 文化・芸術活動の創出と支援
 - 千葉国際芸術祭の開催(プレ会期) 等
- 文化財の保全・活用
 - 郷土博物館の充実 等

健康・福祉



- 医療提供体制の充実
 - 海浜病院に代わる新病院整備 等
- 介護保険サービス提供体制の充実
 - 特別養護老人ホーム整備費助成 等
- 障害のある方への支援
 - こども発達相談室運営 等

都市・交通



- 持続的な公共交通ネットワークの形成
 - 生活交通バス路線維持支援 等
- 都心の魅力向上
 - 千葉駅周辺の活性化推進
 - 千葉マリンスタジアム(建替・改修)基本構想策定 等
- 道路ネットワークの形成
 - (仮称)検見川・真砂スマートIC整備 等

環境・自然



- 地球温暖化対策
 - 脱炭素先行地域に基づく取組み
 - 住宅用再エネ・省エネ設備等設置費助成 等
- 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理
 - 新清掃工場の整備 等
- 緑と水辺の活用と充実
 - 千葉公園の再整備 等

地域経済・農業振興



- 地域経済の新たな担い手の創出
 - 企業立地の促進、創業支援の強化 等
- MICEの推進
 - 大規模イベント開催支援 等
- 農業の担い手確保・育成
 - ニューファーマー育成研修
 - 未来の千葉市農業創造 等

安全・安心



- 災害対応体制の強化
 - 防災備蓄倉庫の整備 等
- 消防力の充実・強化
 - 航空消防防災体制の充実 等
- 防犯対策・被害者支援の推進
 - 犯罪被害者等支援 等

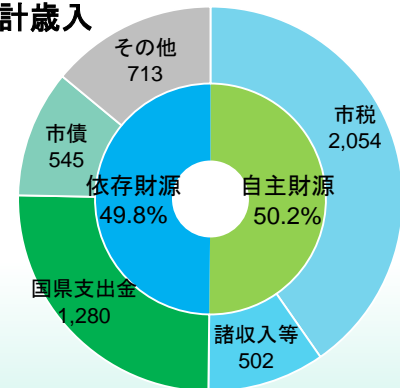
原油価格・物価高騰対策



- 保育施設等給食費等支援
- 学校給食費支援策

一般会計歳入

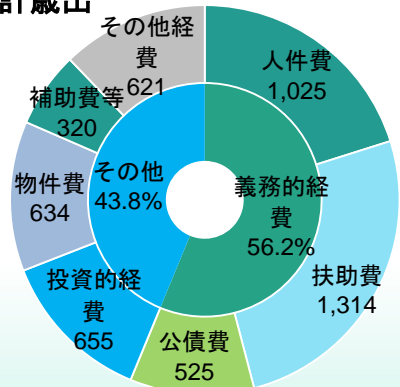
(億円)



歳入：5,094 億円

一般会計歳出

(億円)



歳出：5,094 億円

千葉市基本計画及び実施計画

基本計画については

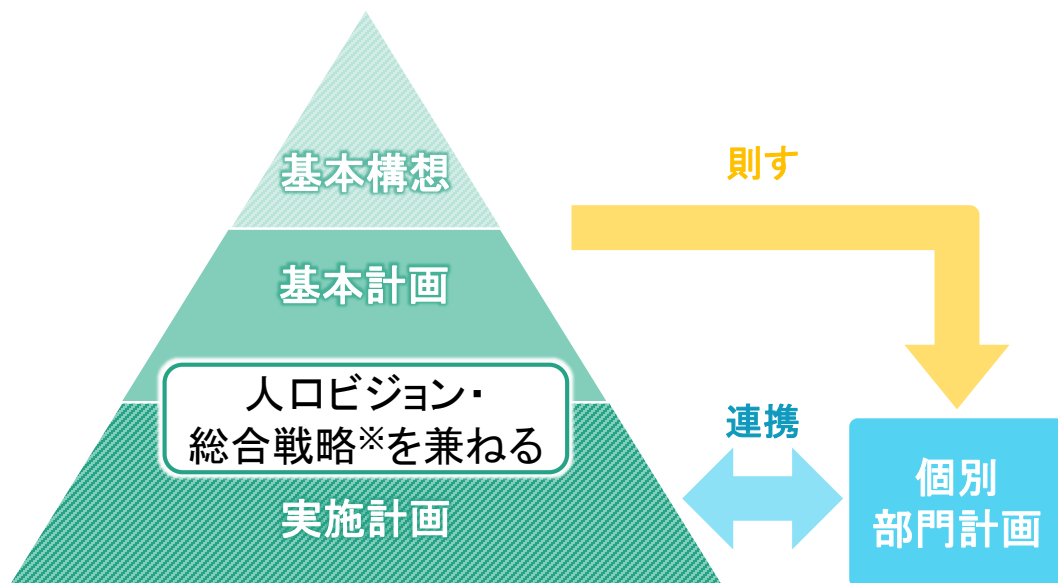
千葉市 基本計画

検索



- 本市の総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3層で構成されています。
- 令和5年度から、基本構想の実現に向け、まちづくりの方向性や今後の施策展開を提示する千葉市基本計画(計画期間:2023~2032年度)及び具体的な事業内容を示す第1次実施計画(計画期間:2023~2025年度)がスタートしました。
- 本計画に基づき、本市ならではの特性を活かしつつ、新たな時代を切り拓く未来志向のまちづくりを推進します。

千葉市総合計画の計画体系



基本構想

- 市政運営の指針として、恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標、望ましい都市の姿を示す

【基本理念】人間尊重・市民生活優先

【基本目標】人とまち いきいきと幸せに輝く都市

基本計画

- 基本構想を実施するため、まちづくりの方向性などを示す基本方針や今後の施策展開を示す

【計画期間】2023~2032年度(10年間)

実施計画

- 基本計画に基づく具体的な事業を提示

【第1次実施計画】2023~2025年度

※ 人口ビジョン・総合戦略

目指すべき人口の将来展望とその達成に向けた取組みを示す

千葉市地球温暖化対策実行計画

- 本市では、2019年に発生した房総半島台風等による被害を受け、気候変動を「気候危機」と位置付けるとともに、この危機に立ち向かう「行動」を重視し、2020年11月に「千葉市気候危機行動宣言」を公表しました。
- この宣言において、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを明記したことなどを踏まえ、2023年度~2030年度を計画期間とする新たな地球温暖化対策実行計画を策定しました。

6つの柱と主な事業

1 使用エネルギーのカーボンニュートラル化

- アプリを活用したCO2排出量の見える化
- 動物公園内へのバイオマス熱ボイラー導入
- 脱炭素化推進の森林整備
- 谷津田の森林整備、斜面緑地等の保全・育成

2 モビリティのゼロ・エミッション化

- 再エネ電力活用シェアサイクルの普及
- EV 充電設備設置の推進
- 自転車走行環境の整備
- グリーンスローモビリティの活用

3 住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化

- 廃棄物発電を活用したエネルギーマネジメント
- 建築物の脱炭素化等に係る条例制定
- 千葉市型省エネ住宅性能基準の策定・認定等
- ZEB プランニング助成



谷津田森林整備

4 市役所の率行的行動

- 公共施設への太陽光発電・蓄電池の導入
- 公共施設へのLED 照明の導入
- ごみ焼却により発生するバイオマス由来の余剰電力活用
- 公用車への電動車導入、EV 充電設備の導入

5 気候変動への適応

- 河川の改修、予防保全
- 急傾斜地崩壊防止施設の整備
- 雨水施設、排水施設の整備
- 森林及び緑地の保全・整備

6 あらゆる主体の意識醸造

- 新庁舎のCO2 排出量の可視化
- 気候危機啓発イベント等による普及啓発
- 環境カレンダーの作成
- SDGs債の購入・発行



新港クリーン・エネルギーセンター EVステーション

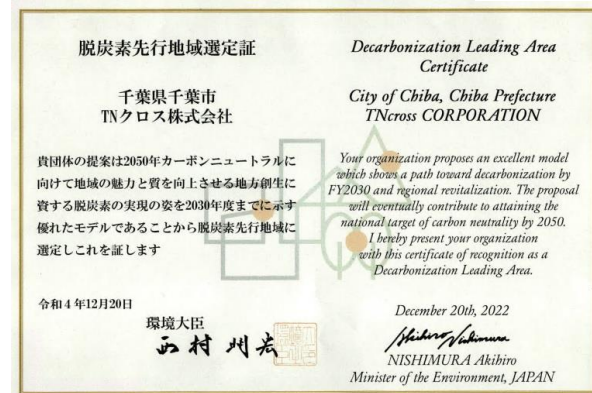
千葉市が脱炭素先行地域に選定されました

- 脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかのCO2排出の削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。
- 2025年度までに少なくとも100か所の地域が選定される予定で、2022年4月26日に第1回目の脱炭素先行地域が26件選定され、2022年11月1日に第2回目として、本市を含む20件が選定されています。（脱炭素先行地域の選定状況は環境省ホームページをご覧ください。）

千葉市における脱炭素先行地域の取組み

千葉市 脱炭素先行地域

検索



主な事業①:新庁舎整備事業



- 旧庁舎が抱える防災面、分散化・狭隘化、老朽化といった課題を解決し、効率的で災害に強い新庁舎の整備を進めてきました。
- 令和2年6月より建設を進めてきた新庁舎が、令和5年1月に竣工し、同年6月に全面開庁しました。

総合防災拠点機能

① 危機管理センター整備

- 市民生活の安全安心を確保するため、地震・風水害等の自然災害をはじめ、あらゆる危機事案に対し、適切な対応を図れるよう、危機管理センターを整備



災害対策本部会議室
関係機関調整室
オペレーションルーム

② 被災直後も災害対応等の業務が継続できるよう新庁舎を計画

インフラ遮断対策	インフラ遮断後も非常用発電機が72時間連続運転可能な燃料を備蓄する計画
免震構造	基礎免震構造を採用、躯体への被害の軽減・家具等の転倒を防止
電気設備等の浸水対策	高潮時に備え主要な設備機器を2階以上に配置



非常用発電機



免震装置

千葉市役所新庁舎



環境性能

- 新庁舎は、一次エネルギーの年間消費量が50%以上削減されている
- ZEB* Ready認証を取得

BEMS	庁舎運用最適化等のため、エネルギー使用状況を「見える化」できるシステムを導入
太陽光発電	出力50kWの太陽電池パネルを設置し、発電した電力は、日中の消費電力削減の他、交通遮断時に帰宅困難者の携帯電話充電等に活用
コージェネレーションシステム	排熱を利用した高効率の空調設備等の導入により電力購入量の削減や省エネルギーに寄与



BEMS



太陽光発電

ユニバーサルデザイン

- 年齢、障害の有無、性別、国籍に関わらず安全に利用できる庁舎を目指し、障害者団体等からの意見も参考に整備

分かりやすいサイン計画	ピクトサイン等での表記、誘導ブロック敷設・音声案内装置を設置
多様な来庁者に配慮したトイレ	車椅子・オストメイト対応、ベビーチェア、小児用トイレを設置
ベビー休憩室	1、2階にベビー休憩室を整備



ピクトサイン



ベビー休憩室



*Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を保ちながら高効率設備等により省エネルギーに努め、太陽光発電等の再生可能エネルギーをつくることで、同規模の標準指標ビルと比較し、一次エネルギー(天然ガスや石炭などの自然界から得られるエネルギー)の年間消費量が大幅に削減されている建築物

主な事業②:新清掃工場建設事業



- 従来の3清掃工場体制から3用地2清掃工場運用体制へ移行するため、北谷津清掃工場跡地に**新清掃工場を整備します。**
- 令和3年4月~令和4年10月にかけて旧清掃工場の解体を行い、令和4年11月から新築工事を開始しています(令和7年度に竣工予定)

最終処分場への埋立量削減

- 可燃ごみだけでなく、市内他の清掃工場から排出される焼却主灰、粗大・不燃ごみを破碎した後の残渣、災害廃棄物などの多様なごみを溶融処理可能
- 従来は最終処分場に埋め立てていた焼却主灰が発生しない
- 溶融スラグは運営事業者が引取り再資源化(公共工事等で利用)

最終処分場の
長寿命化

資源の有効活用

発電能力・発電効率の上昇

- ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電に活用
- 新清掃工場の発電能力及び発電効率は従来比約2倍
- 増加した余剰電力を、自己託送等により市有施設へ送る構想

エネルギーの
有効活用

購入電力量の削減

自己託送

電力需要場所から遠隔地に自家発電設備を設置し、発電した電気を一般送配電事業者が管理・運営する送配電ネットワークを利用して遠隔地の電力需要場所へ送電すること

新清掃工場完成イメージ図



余剰電力活用例①
若葉いきいきプラザ



余剰電力活用例②
北谷津温水プール



溶融スラグ

主な事業③:千葉開府900年記念事業

- 令和8(2026)年、千葉市は、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えます。
- 本市では6月1日を「千葉開府の日」と位置づけ、大正15(1926)年の開府800年、昭和51(1976)年の開府850年と、50年ごとに記念事業を行ってきました。
- 開府900年にあたり、歴史的節目を迎える喜びを分かち合うとともに、千葉一族からの学びを活かしながら記念事業を行い、次代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち、より豊かな未来につなげていくことができるよう、「千葉開府900年記念事業推進計画」に沿って取り組みを進めます。

千葉市の起源

- 始まりは平安時代後期。大治元(1126)年の6月1日に、桓武天皇のひ孫高望王(たかもちおう)(後に平高望)の子孫、常重(つねしげ)が、現在の緑区大椎(おおじ)町から中央区亥鼻(いのはな)付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗り、ここに千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。
- 常重の息子の常胤(つねたね)は、源頼朝を助け、鎌倉幕府の成立に大きく貢献しました。以降400年にわたり、千葉氏は下総の地を治めるとともに、常胤の息子たち(千葉六党)も全国各地に勢力を拡大し、地域の状況に応じた都市経営を通じて、人材や文化を育んできました。

千葉開府900年記念事業の基本理念

- 千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとづくり、文化づくり

実施期間

- 記念期間: 令和8(2026)年4月1日～令和9(2027)年3月31日
- 先行期間: 令和7(2025)年4月1日～令和8(2026)年3月31日

主な取り組み

- 機運醸成、ブランディング(ロゴマーク・キャッチコピーの公募・選定、各種プロモーション)
- 記念式典、オープニングイベント、祝祭イベント等を開催
- 記念事業として認証された事業への支援、記念商品販売への支援
- メンバーシップ制度の運用



(一ノ其) 祝景ノ中市 (圖下) 興 館 (圖上)

千葉開府八百年祭(1926年)



千葉開府850年を記念して始まった「千葉の親子三代夏祭り」(1976年)

千葉開府900年PR動画
「千葉開府 月と星の伝説」



千葉開府900年について



千葉開府900年に向けた
取り組みのシンボルロゴ



ふるさと納税

企業版ふるさと納税については

千葉市 企業版ふるさと納税

検索



- ふるさと納税の取組みをとおして、一般財源の確保のほか、本市の特徴や魅力に触れていただくため、来訪のきっかけとなる返礼品の拡充や地元製品・製品のPRなど、本市に一層関心を持っていただけるような取組み及び事業者支援を行うとともに、地域経済の活性化を図っています。
- 税制上の優遇措置が受けられる「企業版ふるさと納税」による寄附も募集しています。

個人向けふるさと納税

返礼品の一例

千葉市のブランド「千」認定品



千葉県産ソーセージ4種詰合せ



糖度10~11度の高糖度ミニトマト

現地来訪型返礼品



ホテルニューオータニ幕張の宿泊券



『ニコニコ超会議2024』優先入場券
※現在は受け付けておりません

千葉市ふるさと納税(個人向け)案内ページ

ふるさと チョイス	楽天 ふるさと納税	ANAの ふるさと納税	JRE Mall ふるさと納税	ふるなび	まいふる

企業版ふるさと納税

主な募集事業

100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

- ・地球温暖化対策の推進
- ・自然保護対策の推進
- ・オオガハスの魅力発信
- ・避難所の環境整備
- ・耐震診断・耐震改修の促進
- ・交通安全の普及・啓発



千葉市の花「オオガハス」

ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

- ・国家戦略特区の推進
- ・スマートシティの推進
- ・芸術祭の定期開催
- ・アスリート育成支援
- ・動物公園リスタート構想
- ・河川を活用したまちづくり



ドローン宅配実証実験

世界とつながる 多様性を活かした インクルーシブなまちづくり

- ・多文化共生社会の推進
- ・子育て環境の整備
- ・不登校対策の推進
- ・ヤングケアラー支援
- ・高齢者の社会参画支援
- ・障害者雇用の促進



保育環境の充実

都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

- ・企業立地の促進
- ・創業支援の強化
- ・MICEの開催支援
- ・観光プロモーション推進
- ・スマート農業の推進
- ・農業の担い手確保・育成



©X Games Japan
X Games Chiba 2023

お問い合わせ先

寄附制度一般について

千葉市財政局財政部資金課

TEL: 043-245-5078

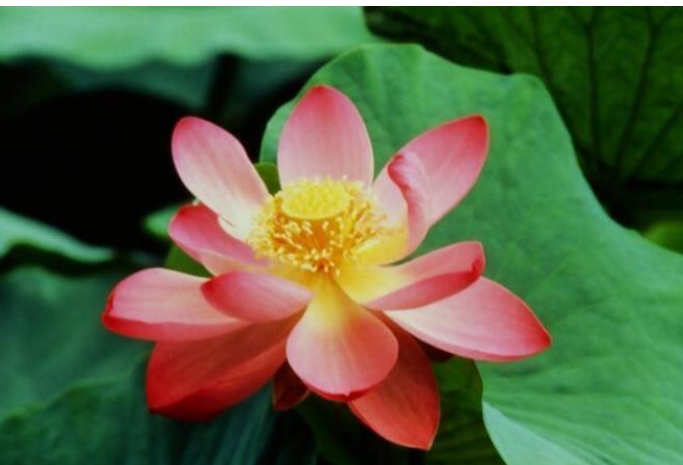
E-mail:
shikin.FIF@city.chiba.lg.jp

企業版ふるさと納税、 地方創生について

千葉市総合政策局
総合政策部政策企画課

TEL: 043-245-5046

E-mail:
kikaku.POC@city.chiba.lg.jp



市の花 オオガハス

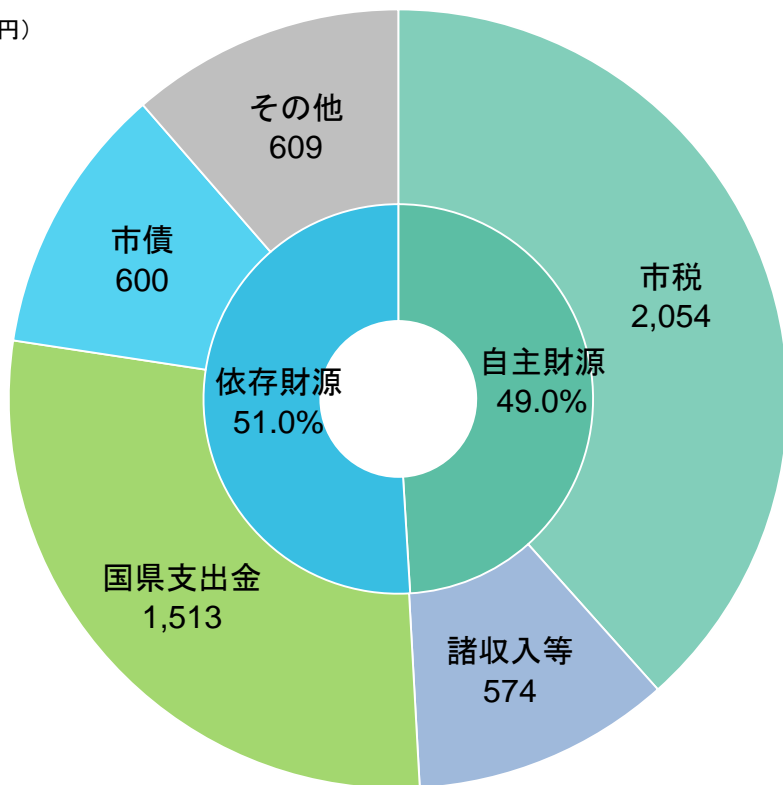
3.千葉市の財政状況について

普通会計における歳入と歳出の状況(令和4年度)

- 歳入全体に占める市税の割合が高く、自主財源の割合が49.0%(前年度と同水準)であり、引き続き**厚い税収基盤(安定性の高い財政基盤)**となっております。
- 歳出についても、より安全性の高い財政基盤構築に向け、**徹底した事務事業の見直しを行う**とともに、本市の持続的発展に必要な投資と財政の健全性の維持・向上とのバランスを図りながら、推進して参ります。

歳入

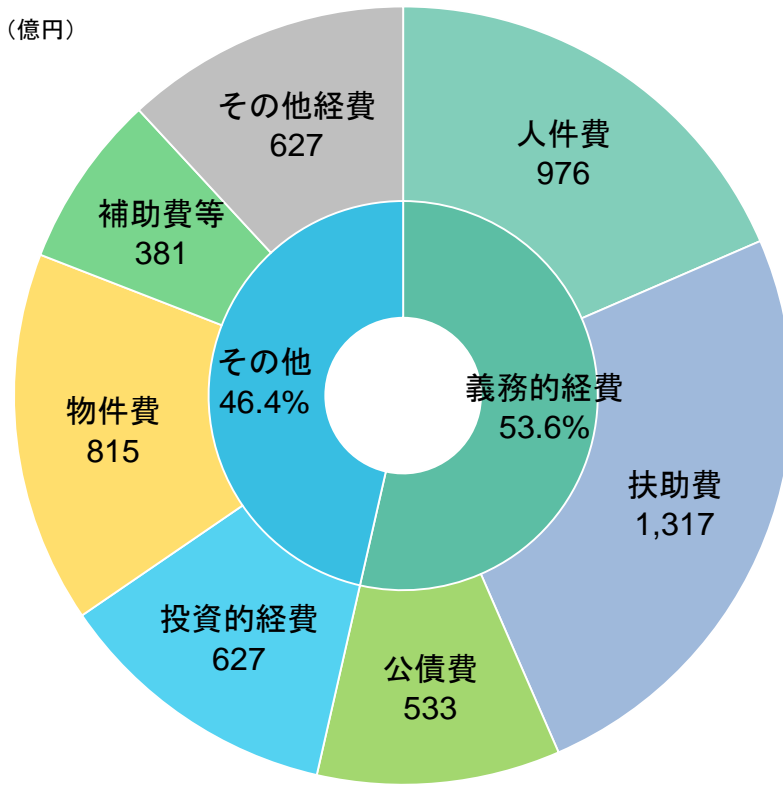
(億円)



歳入: 5,350億円

歳出

(億円)



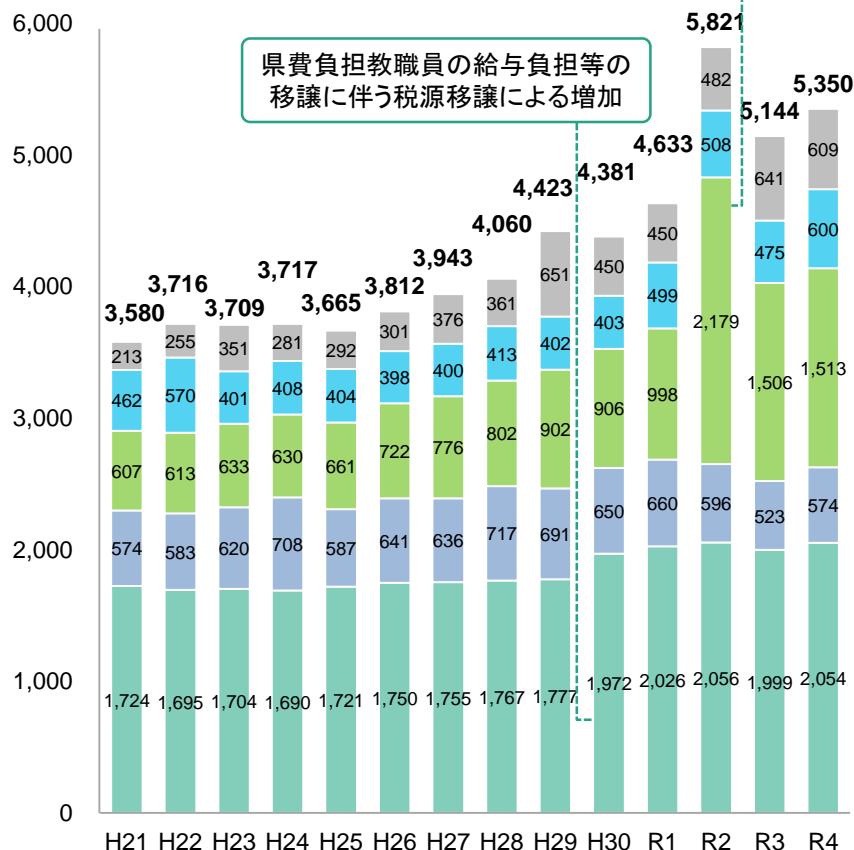
歳出: 5,276億円

普通会計における歳入規模と歳出規模の推移

- 歳入の根幹である市税収入は、直近5年間で2,000億円程度で推移しています。
- 義務的経費(人件費・扶助費・公債費)については、扶助費の増加や、公債費の高止まり等により増加傾向です。

歳入の推移

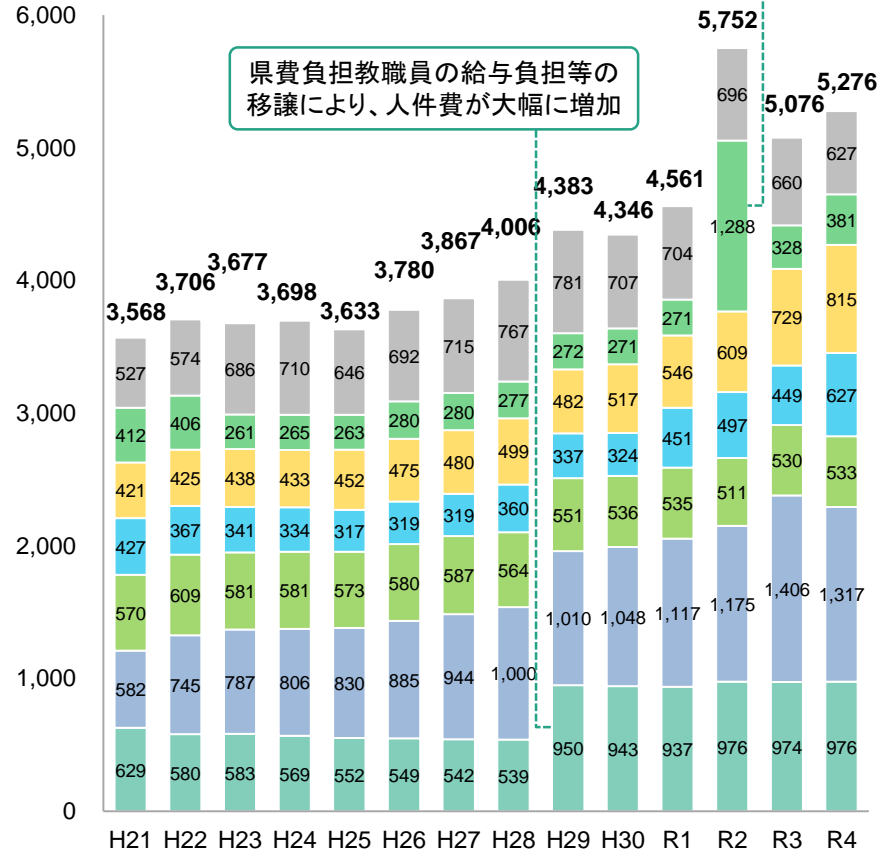
(億円)



■ 市税 ■ 諸収入等 ■ 国県支出金 ■ 市債 ■ その他

歳出の推移

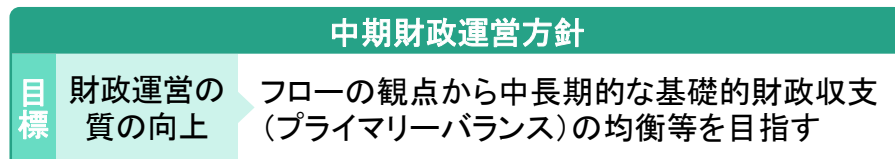
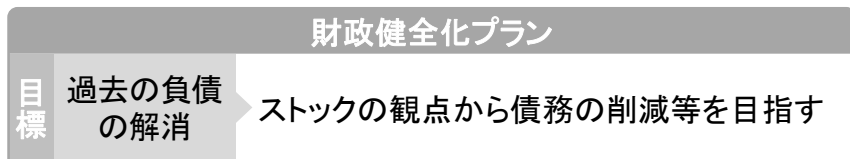
(億円)



■ 人件費 ■ 扶助費 ■ 公債費 ■ 投資的経費 ■ 物件費 ■ 補助費等 ■ その他経費

- これまでの財政健全化の取組みにより**健全化判断比率や債務が一定水準まで改善**しました。
- 中長期的な視点を持って、持続的発展につながる必要な投資を着実に推進しつつも、財政運営の質の向上を図り、**将来にわたり持続可能な財政構造の確立**を目指します。

策定の趣旨



主要内容

方針 プライマリーバランス

中長期的な均衡を目指す

- 黒字を維持することにより、将来負担(市債残高)の抑制に資する

方針 健全化判断比率等

方針策定時と同水準の維持を目指す

- 実質公債費比率:11.8%
- 将来負担比率:128.8%

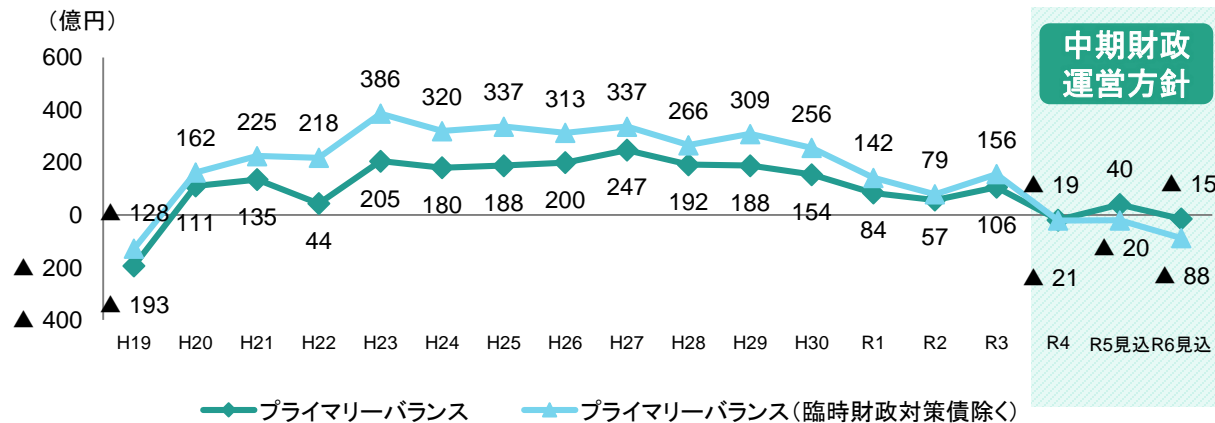
※R2年度決算値

方針 基金借入金返済

期間内に60億円程度の返済を目指す

- 基金からの借入は臨時的な対応であり、早期の解消が必要

プライマリーバランスの推移



※ R4までは決算値、R5は現時点における見込値、R6は当初予算値

更新(見直し)

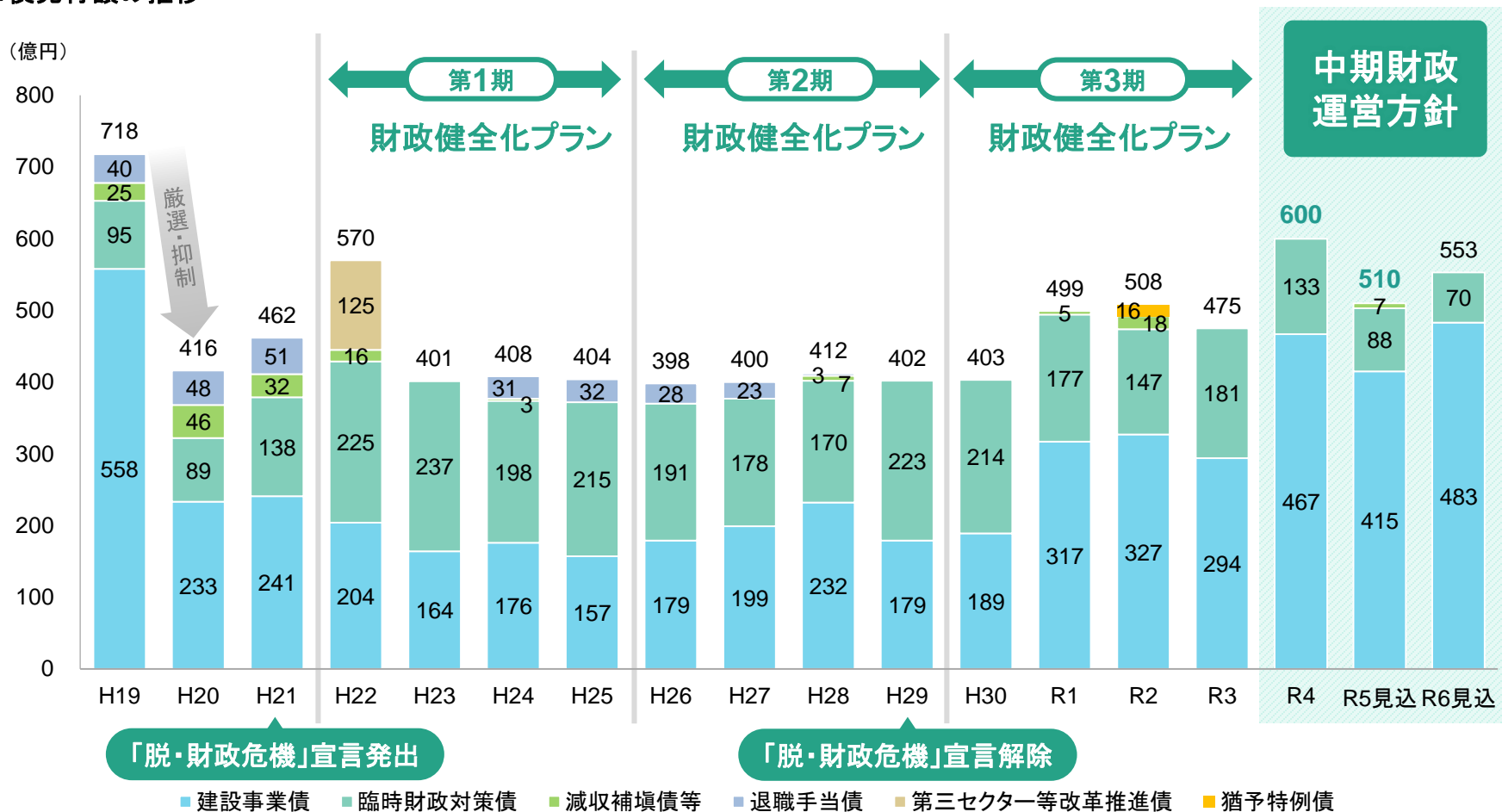
- 本方針策定後における環境の変化(物価高騰、金利の上昇)により、財政状況は厳しさを増している状況
- 一方、そのような状況にあっても、持続可能な財政構造を確立し、将来にわたって安定的に市民サービスを提供していく必要性

本方針期間内の基金借入金の返済額を、80億円程度から60億円程度に見直し

普通会計における市債発行額の推移(新規事業分)

- 平成20年度から建設事業を厳選し、市債(建設事業債)の発行を抑制してきました。
- 令和4年度は、新庁舎・スポーツ施設の整備等の大規模事業が集中し、発行額が増加しました。
- 令和6年度は、新清掃工場建設の進捗などに伴い、発行額が増加する見込みのほか、今後は政令市移行の際に整備した施設の改修等、発行額の増加要因が見受けられますが、中期財政運営方針に基づき、計画的に市債を活用して参ります。

市債発行額の推移

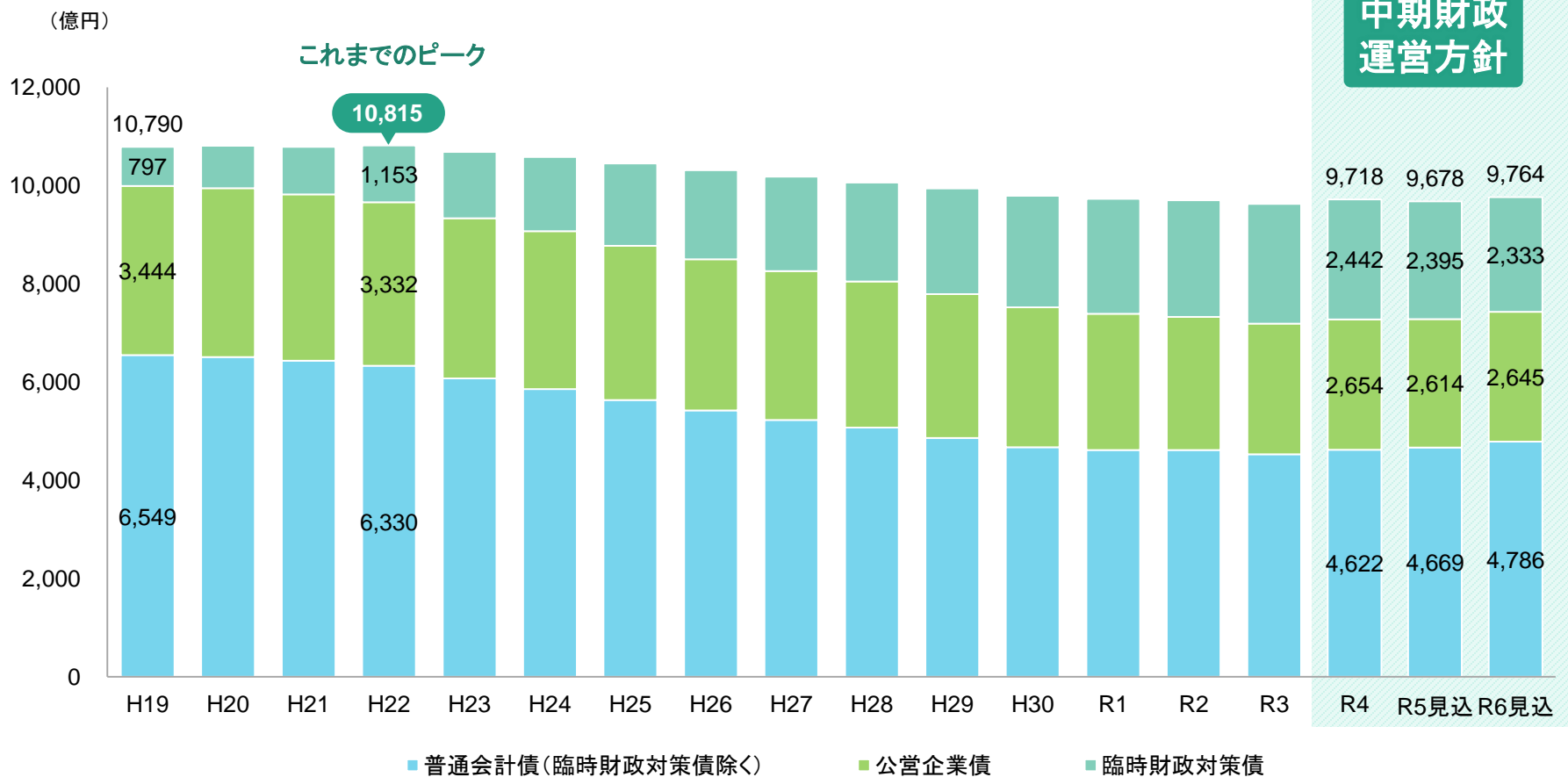


※ R4までは決算値、R5は現時点における見込値、R6は当初予算値

全会計における市債残高の推移

- 臨時財政対策債残高については、これまでは増加基調にありましたが、近年は減少に転じています。
- 事業を厳選し、市債残高の縮減に努めて参りましたが、今後の市債発行額の増加に伴い、一時的な市債残高の増加が見込まれます。
- これらの状況を踏まえつつ、市債残高について、引き続き適正に管理して参ります。

市債残高の推移

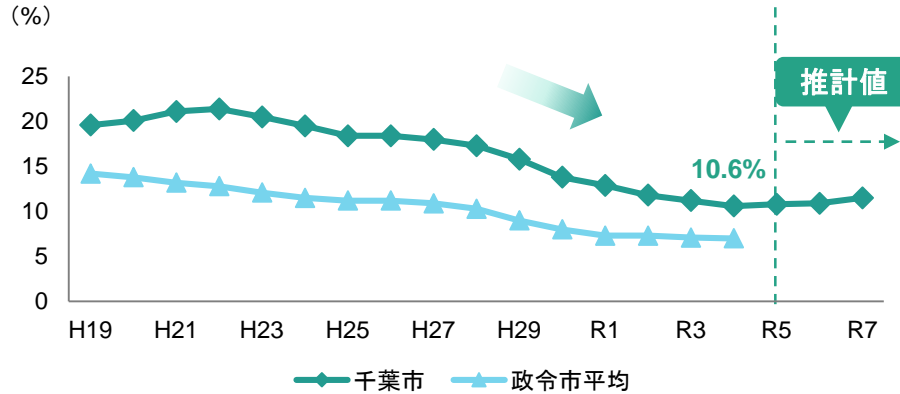


※ R4までは決算値、R5は現時点における見込値、R6は当初予算値

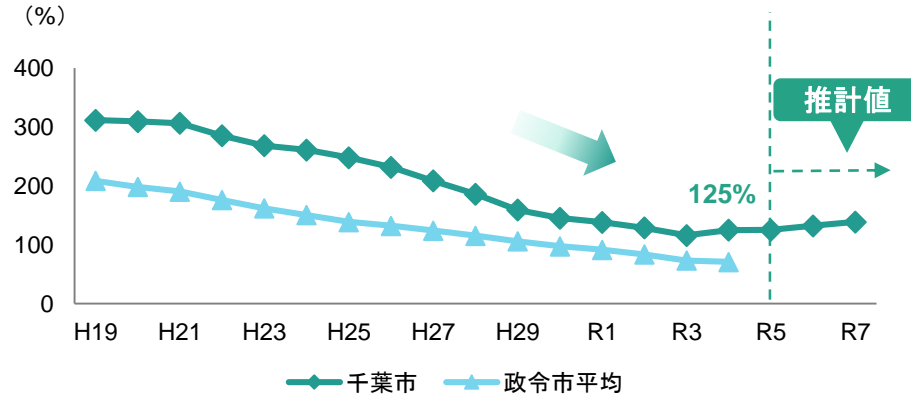
健全化判断比率の推移

- 令和4年度は**実質公債費比率が▲0.6ポイント**となるなど、健全化判断比率は低減しています。
- 今後、発行額及び市債残高の一時的な増加に伴い、**実質公債費比率・将来負担比率の一時的な上昇**が見込まれます。

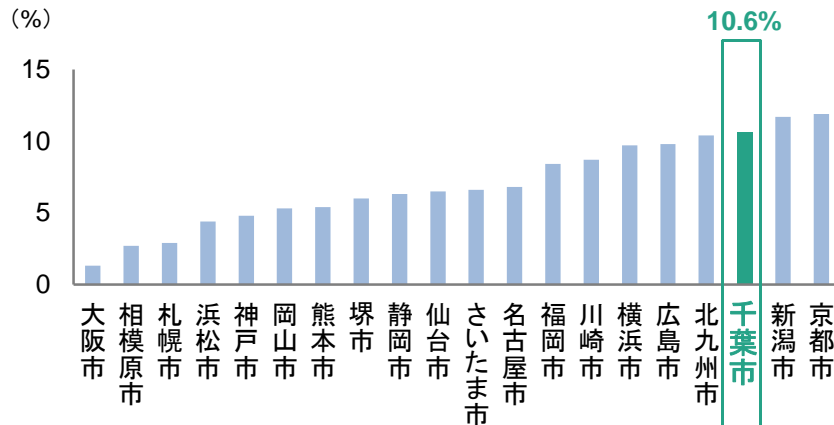
千葉市の実質公債費比率の推移



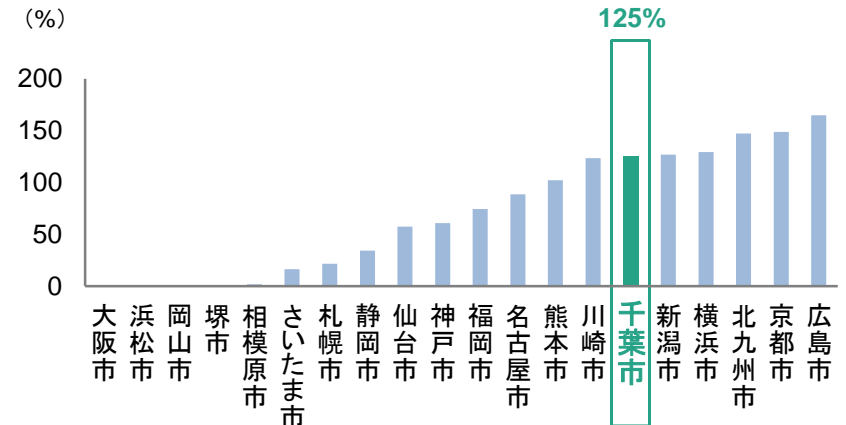
千葉市の将来負担比率の推移



実質公債費比率(令和4年度決算政令市比較)



将来負担比率(令和4年度決算政令市比較)



※ R4までは決算値、R5は予算値、R6以降は「今後の財政の見通し」(R6.2公表)における推計値

※ 他市のデータはR5.11.28総務省発表の確報値

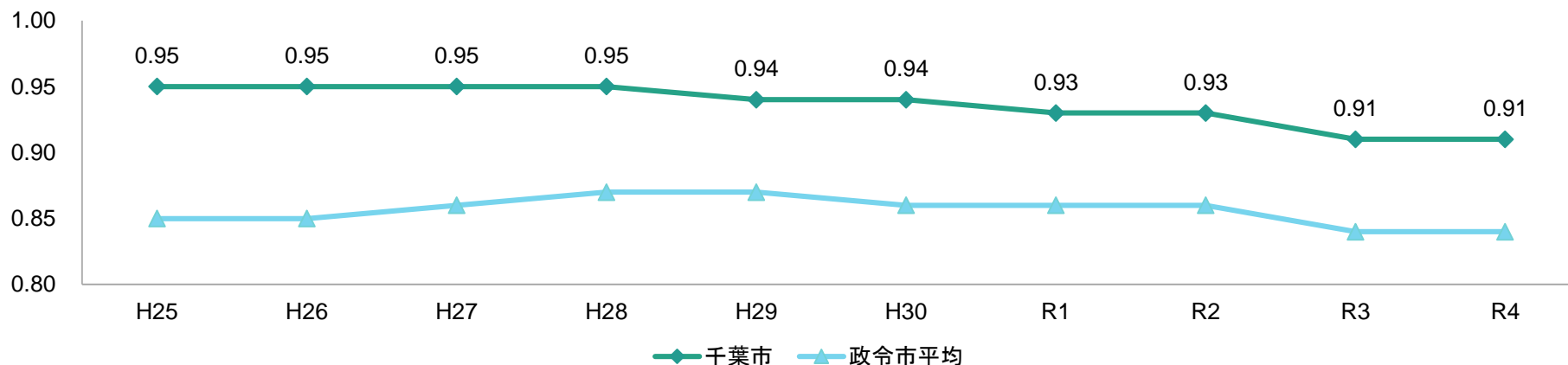
※ 実質公債費比率: 公債費等の標準財政規模に対する割合

※ 将来負担比率: 将来負担債務の標準財政規模に対する割合

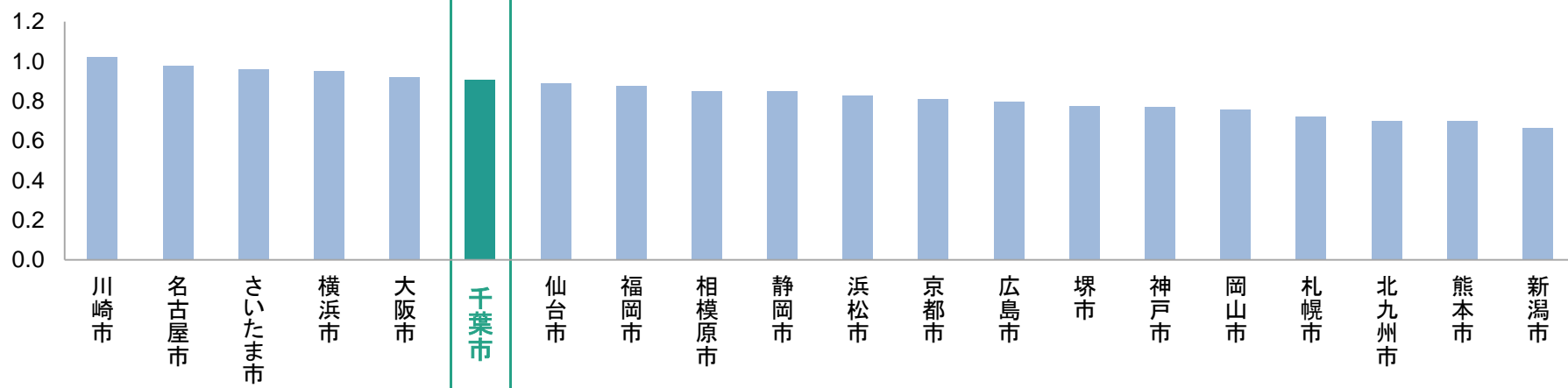
財政力指数の推移

■ 令和4年度決算においては、**0.91**となっております。

千葉市の財政力指数の推移



財政力指数(政令市比較)※令和4年度決算

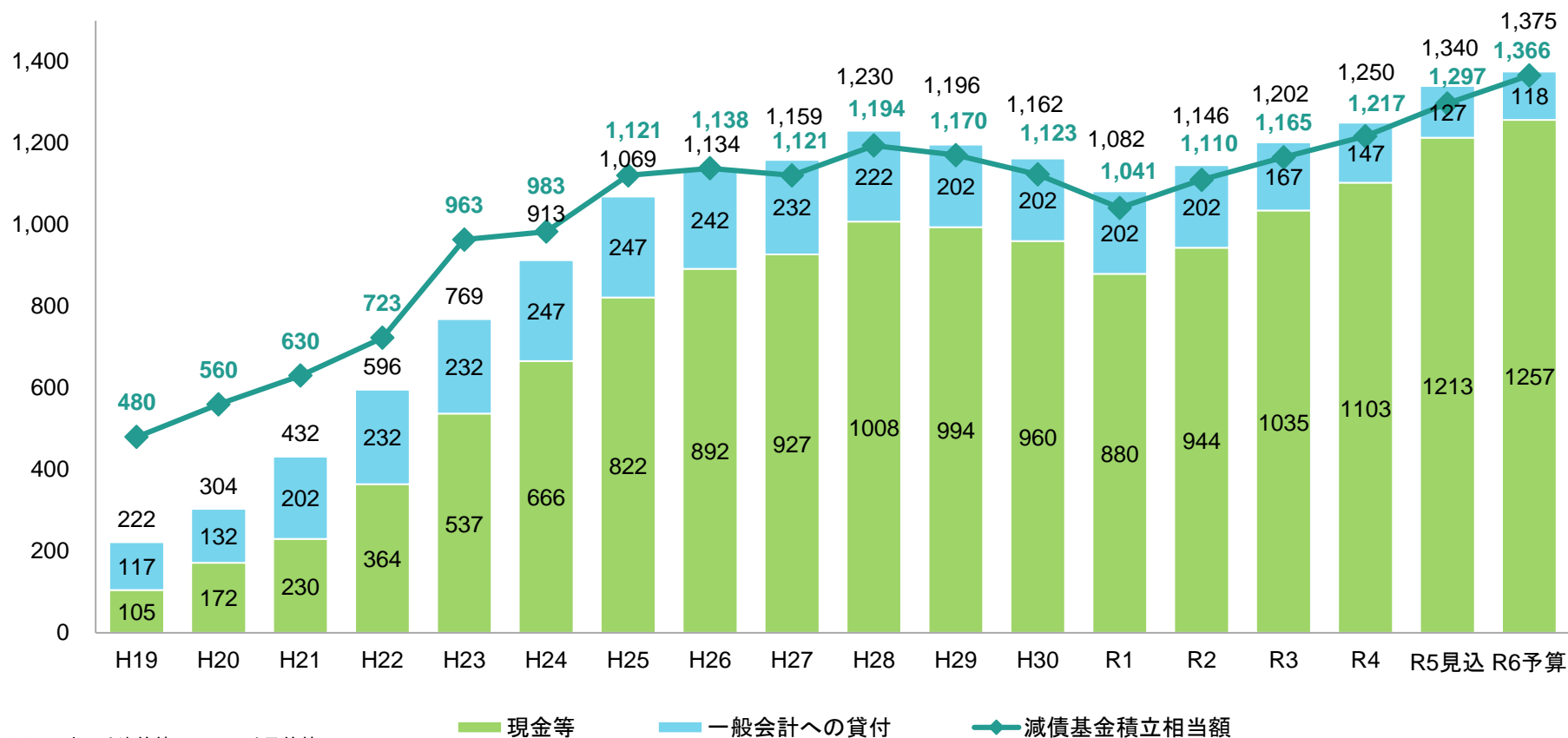


市債管理基金(減債基金)

- 満期一括償還地方債の元金償還に充てるため市債管理基金を設置し、ルールに基づき着実に積立を行い償還財源を確保しています。
- 一般会計の収支不足を解消するため、平成15年度~平成28年度まで、市債管理基金から新規借入をしていました。
- 現在、**一般会計における市債管理基金からの借入金残高の圧縮に注力**しています。借入金残高はピーク時(H24・H25)から100億円の減(R4決算)となっており、今後も計画的(R4~R7の間に60億円程度の返済)に縮減します。

市債管理基金の推移

(億円)



※ R4までは決算値、R5、R6は予算値
 ※ 総務省ルールに基づき算定した積立額



市の鳥 コアジサシ

4.千葉市の起債運営について

- 本市は、積極的なIR活動を通じて、財政状況や事業内容に関する投資家の皆様への情報発信に努めて参ります。
- 市場環境を踏まえた上で、投資家の皆様と丁寧に対話をしていく起債運営を基本的な方針としております。

千葉市の起債運営方針と具体的な取組み

起債運営方針の概要

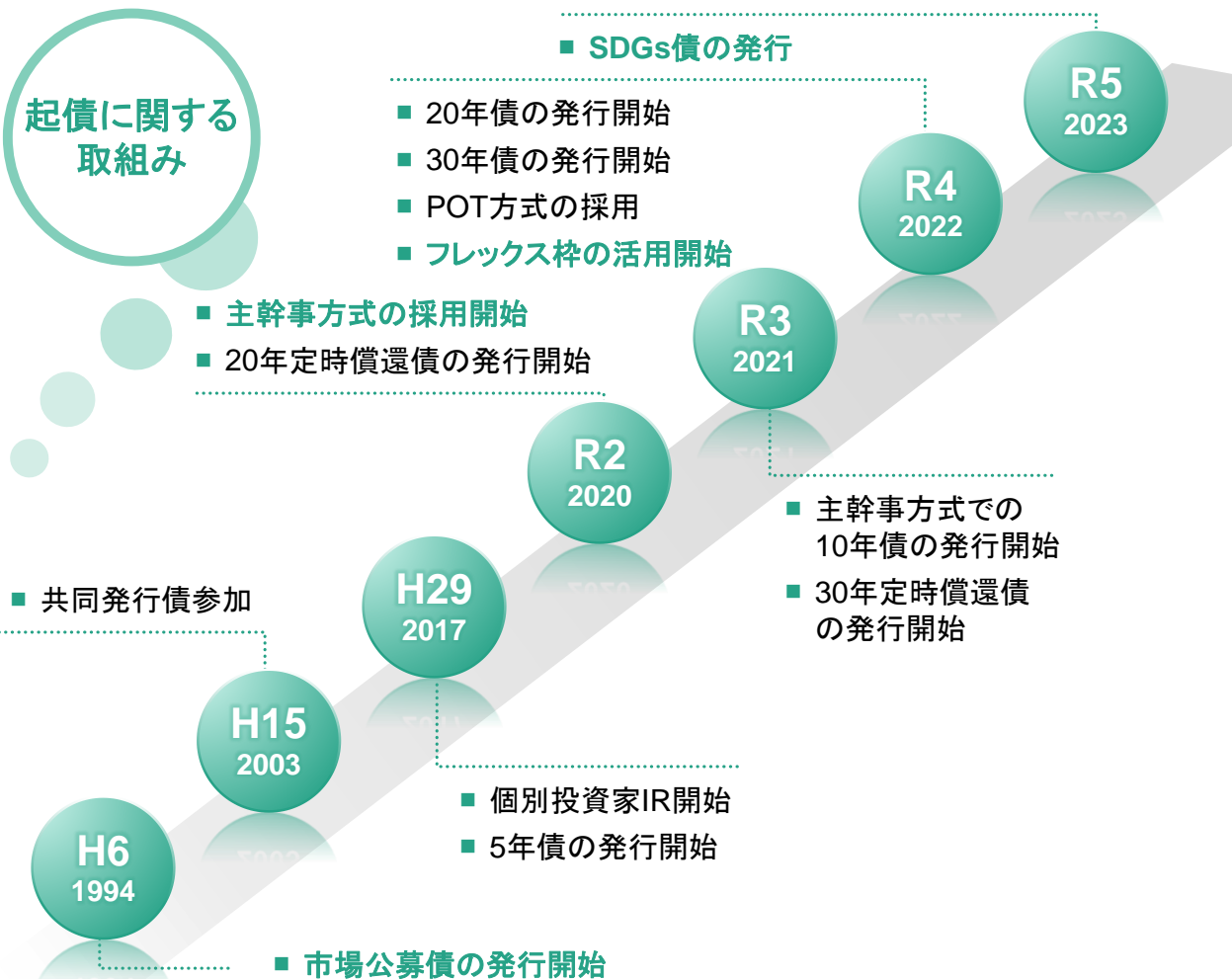
積極的な
IR活動の実施

投資家の皆様の
ニーズ把握

商品性・調達手法
の多様化

千葉市債の
更なる認知度向上

起債に関する 取組み

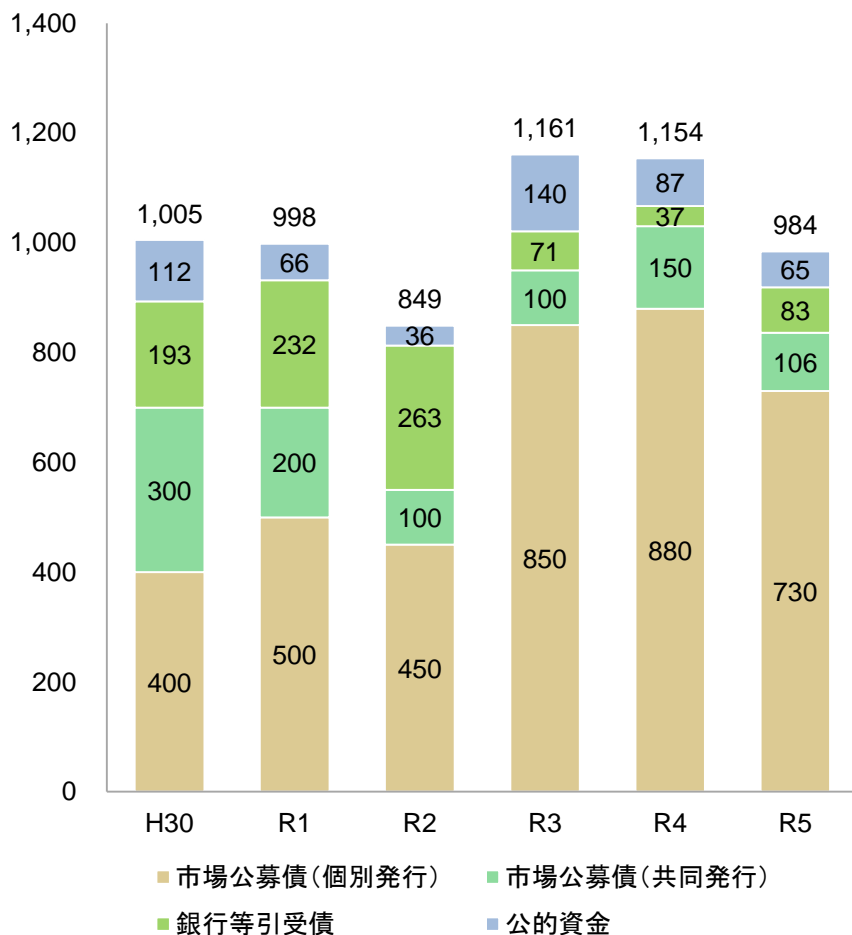


資金区分及び発行年限・償還方法の推移

- 各年度における市債発行額の8割~9割程度(800億円~1,000億円)を民間資金により調達しています。
- 近年では市場公募債(個別発行)の割合を高めており、また商品性の多様化にも努めております。

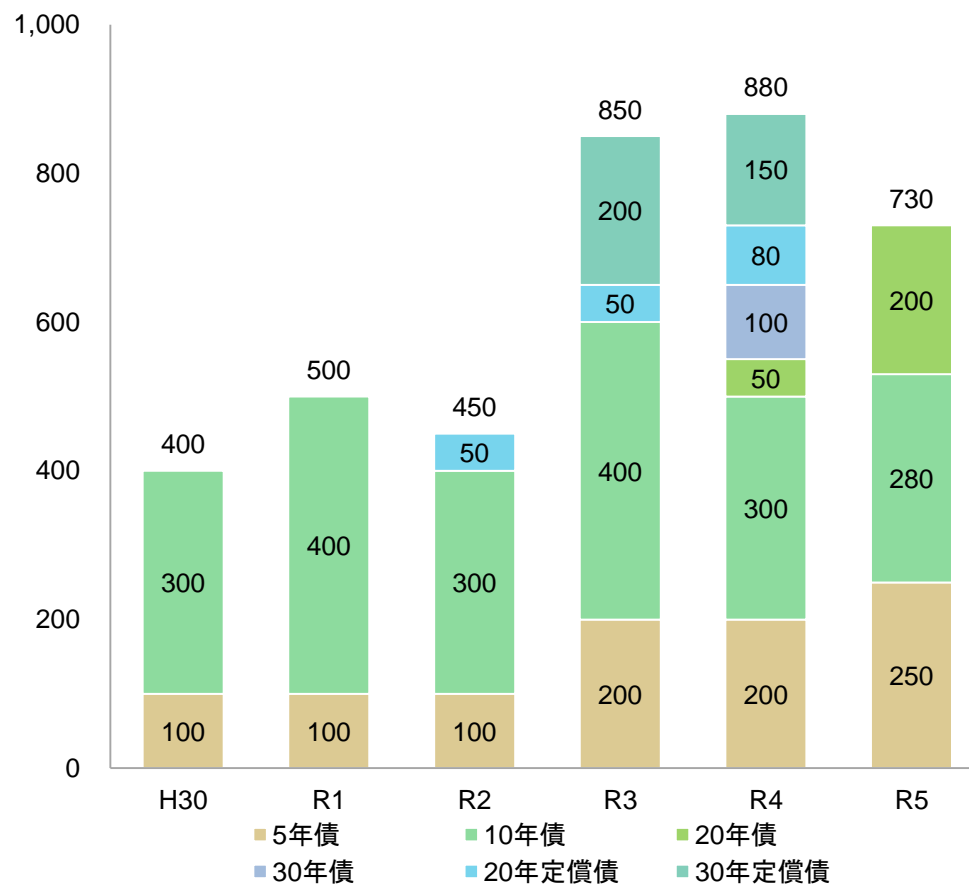
市債資金調達の推移

(億円)



全国型市場公募債(個別発行)の発行額推移

(億円)



全国型市場公募地方債(個別発行)の発行実績

- 平成6年度からシ団方式による発行を開始しており、令和2年度から主幹事方式による発行も開始しています。

令和3年度~令和5年度の発行状況

年度	回号	発行方式	年限	SDGs	発行額 (億円)	表面利率 (%)	条件決定日	払込日	償還日	参照国債
R3	R3-1	シ団	10年	-	100	0.204	2021/04/02	2021/04/23	2031/04/23	#362
	R3-2	シ団	5年	-	200	0.010	2021/05/12	2021/05/25	2026/05/25	#342
	R3-3	シ団	10年	-	100	0.125	2021/10/06	2021/10/22	2031/10/22	#364
	R3-4	主幹事	10年	-	100	0.135	2021/12/03	2021/12/24	2031/12/24	#364
	R3-5	主幹事	20年(定償)	-	50	0.230	2021/12/03	2021/12/24	2041/12/24	SL#136
	R3-6	主幹事	30年(定償)	-	100	0.436	2021/12/03	2021/12/24	2051/12/22	SL#162
	R3-7	主幹事	30年(定償)	-	100	0.579	2022/02/04	2022/02/22	2052/02/22	SL#162
	R3-8	主幹事	10年	-	100	0.209	2022/03/02	2022/03/25	2032/03/25	#365
R4	R4-1	シ団	10年	-	150	0.274	2022/04/06	2022/04/22	2032/04/22	#366
	R4-2	シ団	5年	-	200	0.075	2022/05/11	2022/05/25	2027/05/25	#346
	R4-3	主幹事	20年(定償)	-	80	0.416	2022/06/03	2022/06/24	2042/06/24	SL#140
	R4-4	主幹事	30年(定償)	-	150	0.761	2022/06/03	2022/06/24	2052/06/24	SL#164
	R4-5	主幹事	10年	-	100	0.320	2022/08/03	2022/08/25	2032/08/25	#367
	R4-6	主幹事	30年	-	100	1.473	2022/10/06	2022/10/25	2052/06/20	UL#75
	R4-7	主幹事	20年	-	50	1.203	2022/11/10	2022/11/25	2042/11/25	SL#182
	R4-8	主幹事	10年	-	50	0.750	2023/03/09	2023/03/24	2032/12/20	#369
R5	R5-1	シ団	10年	-	100	0.770	2023/04/05	2023/04/25	2033/03/18	#370
	R5-2	シ団	5年	-	100	0.260	2023/05/10	2023/05/25	2028/03/17	#350
	R5-3	主幹事	20年	-	100	1.101	2023/06/02	2023/06/23	2043/06/23	SL#184
	R5-4	主幹事	10年	SusB	50	0.782	2023/08/04	2023/08/25	2033/06/23	#371
	R5-5	主幹事	20年	-	100	1.405	2023/08/25	2023/09/15	2043/06/19	SL#185
	R5-6	主幹事	10年	-	100	0.870	2023/10/04	2023/10/25	2033/12/20	#372
	R5-7	主幹事	10年	BB	30	0.884	2023/12/08	2023/12/26	2033/12/20	#372
	R5-8	主幹事	5年	-	150	0.304	2024/01/11	2024/01/31	2028/12/20	#353

※ SusB:サステナビリティボンド BB:ブルーボンド

令和6年度市場公募債発行計画

- 投資家の皆様のニーズを踏まえた多様な年限・発行額・発行時期等を検討し、商品性の向上に努めて参ります。

(令和6年3月21日時点)

(億円)

区分	年限 (償還方法)	発行 総額	令和6年										令和7年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
個別発行	5年 (満期一括)	100程度		100 シ団											
	10年 (満期一括)	200程度	100 シ団	100程度 主幹事											
	20年 (満期一括)	200程度	200程度 主幹事												
	フレックス枠	200程度	200程度 主幹事												
	SDGs債	未定	未定 主幹事												
合計		700程度 +α													

主幹事体制

10年
(満期一括)

野村證券(事務)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、
東海東京証券

20年
(満期一括)

大和証券(事務)、野村證券、SMBC日興証券

フレックス枠

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、
野村證券、みずほ証券

SDGs債

三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)
大和証券、SMBC日興証券

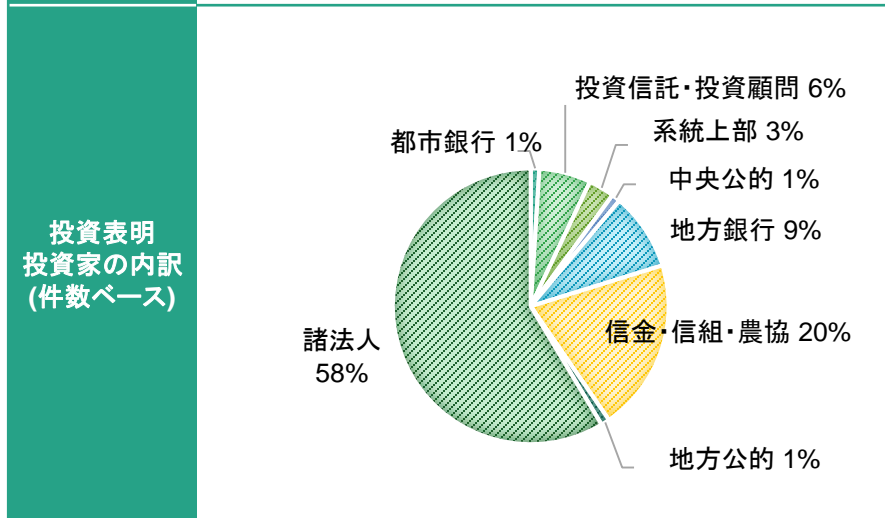
- ※ 市場環境等により、発行計画を変更することがあります
- ※ フレックス枠は、年限や償還方法、発行時期を柔軟に選択するものです。銀行等引受債に振り替える場合もあります
- ※ 発行月(払込日が含まれる月)を基準にして掲載しています

千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド)

- 令和5年8月に、千葉県内の自治体で初めてSDGs債を発行しました。
- 発行額50億円に対し**364.2億円(約7.3倍)**の需要が寄せられ、**77件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和5年度第4回公募公債(サステナビリティボンド)
年限	10年(満期一括償還)
発行額	50億円
応募額	364.2億円
利率	0.782%
条件決定日	令和5年8月4日(金)
発行日	令和5年8月25日(金)
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、みずほ証券
購入対象	機関投資家向け



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

1	アセットマネジメントOne株式会社	36	新日本建設株式会社
2	足立成和信用金庫	37	株式会社ストラクス
3	株式会社天野産業	38	全国共済農業協同組合連合会
4	株式会社アルファ・メンテック	39	医療法人社団創進会
5	株式会社池田泉州銀行	40	総武機械株式会社
6	石川かほく農業協同組合	41	株式会社タカヨシ
7	いちい信用金庫	42	株式会社千葉共立
8	株式会社ウィード	43	株式会社千葉銀行
9	株式会社ウチダ	44	一般財団法人千葉県公立学校教職員互助会
10	株式会社内山アドバンス	45	千葉県信用保証協会
11	エイチ・ジー・サービス株式会社	46	公益財団法人ちば県民保健予防財団
12	太田プレス株式会社	47	株式会社千葉興業銀行
13	株式会社オートウェーブ	48	学校法人千葉明德学園
14	大西総業株式会社	49	銚子商工信用組合
15	鹿児島信用金庫	50	株式会社銚子丸
16	鎌ヶ谷巧業株式会社	51	東京海上アセットマネジメント株式会社
17	観音寺信用金庫	52	株式会社トライ・インターナショナル
18	一般財団法人 君津健康センター	53	西三河農業協同組合
19	有限会社クサノ	54	日東工業株式会社
20	株式会社クレックス	55	株式会社日本貿易保険
21	株式会社京葉銀行	56	飯能信用金庫
22	国際空港上屋株式会社	57	株式会社東日本銀行
23	三栄メンテナンス株式会社	58	東山口信用金庫
24	株式会社サンカジロ	59	尾西信用金庫
25	株式会社三協リアル	60	氷見市農業協同組合
26	株式会社三建	61	ひろしま農業協同組合
27	三洋コンクリート工業株式会社	62	碧海信用金庫
28	サンレイ工機株式会社	63	株式会社北洋銀行
29	株式会社 シー・エス・ランパー	64	北海道信用金庫
30	公益財団法人 自動車/バイク促進センター	65	株式会社みずほ銀行
31	株式会社勝電ユニテック	66	三菱UFJ国際投信株式会社
32	白石管工事株式会社	67	明治安田アセットマネジメント株式会社
33	信金中央金庫	68	公益財団法人 八千代市地域振興財団
34	新光重機株式会社	69	山一興産株式会社
35	株式会社新昭和		

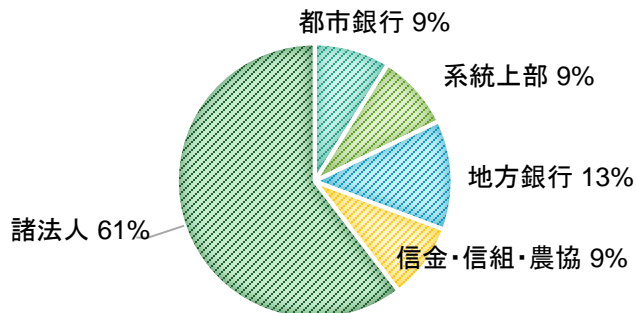
千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド)

- 令和5年12月に、日本国内の自治体で初めてブルーボンドを発行しました。
- 発行額30億円に対し**66.4億円(約2.2倍)**の需要が寄せられ、**27件**の投資家様に購入いただきました。

発行概要

名称	千葉市令和5年度第7回公募公債(ブルーボンド)
年限	10年(満期一括償還)
発行額	30億円
応募額	66.4億円
利率	0.884%
条件決定日	令和5年12月8日(金)
発行日	令和5年12月26日(火)
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)、みずほ証券
購入対象	機関投資家向け

投資表明 投資家の内訳 (件数ベース)



※小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります

投資表明投資家一覧(敬称略・50音順)

1	安房運輸株式会社	13	株式会社千葉銀行
2	株式会社安西製作所	14	公益財団法人千葉県私学教育振興財団
3	印旛沼土地改良区	15	株式会社千葉興業銀行
4	太田プレス株式会社	16	千葉テレビ放送株式会社
5	大塚建工株式会社	17	ちば東葛農業協同組合
6	株式会社京葉銀行	18	株式会社電洋社
7	三洋コンクリート工業株式会社	19	公益財団法人日本海事広報協会
8	株式会社シー・エス・ランパー	20	日本コープ共済生活協同組合連合会
9	信金中央金庫	21	本町化学工業株式会社
10	株式会社センエー	22	株式会社みずほ銀行
11	全国共済農業協同組合連合会	23	株式会社三菱UFJ銀行
12	たじま農業協同組合		

第9回サステナブルファイナンス大賞における表彰

- ・ 環境金融研究機構が2015年より実施しているサステナブルファイナンス大賞において、千葉市が地域金融賞に選定されました。
- ・ **国内自治体で初めてとなる**、資金使途を全額ブルー適格プロジェクトとする**ブルーボンドの発行が評価**されました。



表彰式の様子



表彰状



本資料に関するお問い合わせ先

千葉市財政局財政部資金課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

TEL : 043-245-5078

FAX : 043-245-5535

E-MAIL : shikin.FIF@city.chiba.lg.jp

- 本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません
- 本資料に掲載している情報は、修正される場合があります
- 本資料内のデータは、信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません